

多くの皆様に参加していただき感謝！

会員皆様の意見を参考に色々な活動しました！

平成29年度の取組みを報告



新体制が発足

平成29年度の都市計画委員会は、長年都市計画委員長を務めた小中氏（玉野総合C）が退任し、福島氏（トリーニチC）が新たに委員長に就任した。副委員長には河村氏（オオバ）が着任、また、継続委員7名、委員交代3名、新規委員3名の計15人体制でスタートした。

合同WG開催

平成29年6月21日（水）に、3WG合同の会議を宝第一ビル（名古屋市中村区）にて開催した（参加者54名15社）。会議では、本年度の都市計画検討グループの活動テーマを決めるため、各委員が学びたい・見てみたい内容について議論した。議論した結果については、例年同様各WG代表として選出した若手技術者がプレゼンした。合同WG後には、意見交換会を実施し、出先や血液型などでグループを分け、各技術者同士が仕事やプライベートの話などに花を咲かせた。

平成29年度の活動方針

今年度の都市計画検討グループ（委員と会員との活動）では、技術研鑽を通じてグループ会員が集まり、互いの交流の輪が広がる場づくりや、学識経験者、官公庁、他の団体との積極的な交流の場づくりを進めた。本年度も、都市計画委員会に設置されている「都市整備」、「交通」、「ランドスケープ」の3つのワーキング（以下、WG）主体の活動とした。

都市計画委員会総会

平成28年7月21日（金）に、IMYホール（名古屋市中区）にて平成29年度都市計画委員会総会を開催した（参加者45名15社）。総会には前後半の2部構成

都市整備WG活動

合同WGにおいて、要望の多かった「人口減少・高齢化社会」に対応したまちづくりに対し、「地域資源の活用」魅力づくりの事例」を取り組みテーマとし、平成29年10月20日（金）に「錦二丁目まちづくり協議会」の講習会

交通ワーキング活動

平成29年10月20日（金）に「自動運転が創る未来の都市交通のあり方」と題し、名古屋大学未来社会創造機構森川先生他3名の講師をお招きし、愛知県内各地で社会実験が行われている「自動運転技術」を取り上げ、期待される効果・導入などについて、産官学のそれぞれの立場から講演いただいた。意見交換では、自動運転が広く普及する時代からカーシェアリングへの移行について質問が挙がった。（詳細は別紙2の2ページに掲載）

第27回業務技術発表会

平成29年10月4日（水）愛知県産業労働センター（ウインクあいち）にて第27回業務技術発表会を開催した。都市計画部門では5編の応募があり、選考の結果うち4編について当日論文を発表した。中央コンサルタンツ㈱の渡邊氏（発表タイトル「公共施設等総合管理計画について」）が優秀賞を受賞した。その他の発表者は、㈱テイクコ伊藤氏、㈱国際開発コンサルタンツ渡辺氏、玉野総合コンサルタンツ㈱の川口氏。

ランドスケープWG活動

平成29年11月8日（水）に「最新事例からランドスケープデザインを学ぶ」と題し、滋賀県草津市の「草津川跡地公園」・「ラ・コリーナ近江八幡」での講習会・現地見学会を実施した。草津川跡地公園では、草津市役所建設部草津川跡

と視察を実施した。当日は、錦二丁目まちづくり協議会会長の堀田氏を講師としてお迎えし、まちの魅力を取り戻す活動の経緯や苦労話など、現場の目線で語っていただいた。講習後は、現地に移動し、取り組んできた活動の成果や現在の街の様子について視察した。（詳細は別紙2の1ページに掲載）

第28回開催告知

平成30年10月3日（水）「ウインクあいち」にて開催予定4月に応募依頼を各会員に配信。発表希望者は、7月13日までに概要書を提出。業務技術部門は応募者の中から選考。プレゼン部門は応募者の中から抽選（1社1名まで）

平成29年度都市計画委員会活動及び参加者

- 【会員参加型企画】
- 合同WG（6/21）：54名（15社）
 - 都市計画委員会総会（7/21）：45名（15社）
 - 都市整備WG現地見学会（10/20）：28名（15社）
 - ランドスケープWG講習・見学会（11/8）：24名（12社）
 - 交通WG講習会（11/17）：38名（16社）

延べ189名の会員にご参加いただきました！
ありがとうございます！

【都市計画委員の主な活動】

- 業務技術発表会：主幹、運営補助、とりまとめ
- 建設技術フェア2017in中部 学生交流広場対応
- 建設コンサルタントフェア2017in中部：運営補助
- 都市計画とまちづくり（三重県）：講師派遣
- 事前復興まちづくり模擬訓練（愛知県）：研修会
- 建設コンサルタント業界説明会：講師派遣
- 都市計画委員会：毎月開催：（全8回、5月～12月）

平成 29 年度 都市計画検討グループ総会 報告

I. 開催日程等

日 時：平成 29 年 7 月 21 日（金）14:00～19:30

場 所：I・M・Y 6階第3会議室

参加者：総会参加 45名（15社）

II. 総会の次第

- | | |
|----------------------------------|----------|
| 1. 開会 | 【市橋副委員長】 |
| 2. 技術部会副部会長挨拶 | 【大場副部会長】 |
| 3. 平成 29 年度委員の紹介 | 【市橋副委員長】 |
| 4. 平成 28 年度活動報告と平成 29 年度活動計画（案） | 【福島委員長】 |
| 5. 平成 29 年度各 WG 活動方針 | 【各委員】 |
| 6. 平成 28 年度決算報告と平成 29 年度予算（案）の説明 | 【福島委員長】 |
| 7. 講演会 『景観計画の実践』 | |
| 8. 意見交換会 同館9階 IMYホール | |
| 9. 閉会 | |



【大場副部会長による挨拶】



【福島委員長による説明】

III. 平成 29 年度活動計画（案）

テーマ：都市計画を取り巻く動き、新しい情報の提供

活動方法：WG活動を主体にニーズに対応した見学会、講習会等の開催と交流の深化

合同WG：他の技術検討グループとの合同開催

都市計画検討グループの目的は「技術研鑽」と「技術者相互の交流」です。技術の研鑽を目標にして各グループ部員が集まり、お互いの交流の輪が広がる場づくり、学識経験者、官公庁、他の団体とも積極的に交流の場づくりができるように進めていきたいと考えています。

平成 29 年度は、平成 28 年度同様 WG 主体の活動に重点を置き活動計画を立案します。また、社会貢献活動にも積極的に参加します。

IV. 記念講演会（15：00～17：30）

『景観計画の実践』

講師：三重大学大学院工学研究科 浅野 聡 准教授
岐阜工業高等専門学校建築学科 鶴田佳子 教授
神戸大学大学院工学研究科 栗山尚子 助教

概要：景観法をめぐる景観まちづくりの10年の動向
景観行政団体による景観計画の取り組み状況
景観計画の検証：景観法10年の成果と課題
景観計画と景観まちづくりの新しい展開

景観法の制定10年を背景にして、現在の景観行政の進行状況とともに、様々な課題と今後、それらの課題にどのように対処していくべきか等の方針が示されることで、将来に向けた施策の指針等を得ることができました。社会状況の変化に伴い、景観計画を見直す必要性や新規に計画策定を促す方向性がみられるなか、我々コンサルタントは魅力ある景観づくりの推進に向けて、さらに見識を深めて貢献していく必要があります。

質問では、先生方に景観的に優れたお勧めのまちについての話も聞くことができ、大変興味深い講演会となりました。ありがとうございました。



【講演会風景】

V. 意見交換会（18：00～19：30）

先生方3名も出席していただき、賑やかな意見交換会となりました。講演会で聞けなかった内容や質問もなされ、会員同志の交流の場として有意義な会となりました。また、浅野准教授より、プラタモリ（伊勢神宮）出演時の裏話も紹介していただきました。

平成 29 年度 都市計画検討グループ WG活動報告

都市整備WG

I. 開催日程等

日 時：平成 29 年 10 月 20 日（金） 15：00～20：00

場 所：（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部 会議室および錦二丁目地区内

テーマ：錦二丁目まちづくり協議会

講 師：錦二丁目まちづくり協議会 会長 堀田勝彦氏

参加者：28 名（15 社）

II. 活動概要

本講習会は、名古屋都心にある錦二丁目地区にてまちづくりに取り組んでおられる「錦二丁目まちづくり協議会」の堀田会長に講義をしていただきました。錦二丁目は、繊維産業の衰退や人口減少とともに町全体が個性と活力を失いつつある中、地域の事業者や住民が中心となり、まちに魅力を取り戻す精力的な活動をしており、その活動の経緯やご苦労など、現場の目線で語っていただきました。

講演会では、繊維問屋組合の設立 50 周年イベントを契機として連続的に様々な活動を取り組んできた空きビルのリノベーション、ベンチャー企業集積、低炭素まちづくりプロジェクト、アートイベントなどの様々な活動についての説明がありました。またその中の空きビルのリノベーションでは、空きビル 1 棟分の入居者を交渉中にもかかわらず、事前に集めてしまっておオーナーに交渉したこと、様々な理由で「貸すつもりがない」空きビルとアートイベントは相性が良いことなど成功のポイントがいくつもあることを伺うことができました。

その後、実際に現地まで歩き、取り組んできた活動の成果や現在の街の様子について視察しました。

意見交換会では、講師の堀田様を囲み、まちづくり活動の話題で話がはずみました。



▲堀田氏による講演



▲講演会風景



▲現地視察風景



▲意見交換会

交通WG

I. 開催日程等

日 時：平成29年11月17日（水） 14:00 ～ 17:00

場 所：建設コンサルタント協会中部支部 3F 会議室

テーマ：自動運転が創る未来の都市交通のあり方

講 師：名古屋大学未来社会創造機構 森川高行 教授

愛知県産業労働部産業振興課 柴山正明 氏

アイサンテクノロジー(株) 山崎祐嗣 氏

春日井市まちづくり推進部 水野真一 氏

参加者：38名（16社）



II. 活動概要

今回の講習会は、現在愛知県内各地で社会実験が行われている「自動運転技術」を取り上げ、「自動運転が創る未来の都市交通のあり方」と題して、期待される効果・導入に向けた課題・展望などについて、産官学のそれぞれの立場から講演いただきました。

講習では、名大森川教授による「自動運転がもたらす街と社会の変化」で「ダイナミックマップを使った交通マネジメント」や「ゆっくり自動運転」の活用、「次世代自動車」の姿などについて理解を深めることができました。さらに、愛知県の「あいち自動運転推進コンソーシアム」による新たなビジネスモデル・事業の創出に対する期待を、アイサンテクノロジーの具体的な自動運転システム紹介や春日井市高蔵寺ニュータウンでの「先導的モビリティの取組」など、未来の都市交通につながる知見を得ることができました。

III. 意見交換の主な内容

- ・自動運転が広く普及する時代について
- ・自動車の所有からシェアリングへの移行について
- ・ダイナミックマップの普及と費用について
- ・高蔵寺NTのパーソナルモビリティのサービス概要について
- ・高蔵寺NT実証実験時の交通状況把握について



▲講習会風景（名古屋大学 森川教授）



▲講習会風景（愛知県 柴山様）



▲講習会風景（アイサンテクノロジー 山崎様）



▲講習会風景（春日井市 水野様）

ランドスケープWG

I. 開催日程等

日 時：平成29年11月8日（水）8:00～18:30

場 所：滋賀県草津市「草津川跡地公園」「ラ コリーナ近江八幡」

テーマ：最新事例からランドスケープデザインを学ぶ

講 師：草津市役所 建設部 草津川跡地整備課 整備管理グループ 副参事 間宮豊香 氏
主 任 森田洋平 氏

参加者：24名（12社）

II. 活動概要

近年、公園においても多種多様なニーズが求められており、草津川跡地公園は中心市街地や周辺都市施設との連携による人々の交流やコミュニティ活性化の新しいにぎわいのステージとして整備が進められております。また、ラ コリーナ近江八幡は、木、土、石、草などの自然素材を用いた農村景観と融合した施設であります。この二つの施設から、最新のランドスケープデザインや市民協働による公園運営などを学ぶため、講習会・見学会を実施しました。

草津市役所の間宮氏、森田氏の講習会は、「草津川跡地整備事業 ～川の流れを 人の流れに～」と題し、江戸時代からの天井川であった経緯から、廃川後の利活用検討、公園デザイン、公園計画・設計の留意点、管理運営手法、市民との協働による公園運営など計画から現在の運営、公園の将来への展望などを学ぶことができました。講習会後は、講師の方の解説付きで草津川跡地公園を見学し、設計、維持管理、市民ニーズへの対応などなど具体的事例を見ながら見解を聞くことができました。

ラ コリーナ近江八幡では解説付き施設見学会を実施し、この施設のテーマ、ディテールまでこだわったデザイン、企業が目指す将来像などを学ぶことができました。



▲講習会風景



▲解説付き公園見学会



▲解説付き施設見学会



▲参加者の集合写真